

○ 重度身体障害者グループホームやじろべえ

重度身体障害者グループホームやじろべえで実施しているコロナ感染対策をご紹介します。

●手洗い・うがい・消毒

職員の出勤時、外出から帰宅した際、食事介助前後に。入居者の方は赤羽西福祉工房や外出から帰宅した際に行っています。入居者の方が帰宅した際は車いすのタイヤやグリップなども消毒しています。職員はこまめに手洗い・うがい・消毒を行っています。

●消毒作業

1日2回消毒作業を行います。入居者の方の就寝後、赤羽西福祉工房へお見送りした後に行います。リモコンや照明等のスイッチ、椅子や机、窓のサッシやコンセントなど日常生活で触るであろう場所の消毒を徹底しています。

●マスクの着用

職員は介助中にマスクの着用をしています(状況に応じて熱中症になる場合など考慮して外している場合もあります)。入居者の方もお店へ入る際や赤羽西福祉工房の送迎バスに乗る際など着用していただいています。

●換気

玄関と窓を開放し、10分ほどの換気を適時行います。

●検温

職員出勤時、入居者の方は起床後検温を行います。37.5度を超える場合職員は出勤取りやめ、入居者の方は赤羽西福祉工房をお休みします。

●ご家族、来訪者、業者

入居者とご家族との面会は通常通り行っています。ご家族の方には面会前に検温と消毒をお願いしています。また業者、来訪者の方は玄関先で対応をしています。

●クレベリンの使用

入居者の方の各居室とリビングにクレベリンを置いています。クレベリンを使用して、ウイルスの殺菌を行っています。

●外出

人込みへの外出自粛、入居者の方には外食と公共交通機関の利用を遠慮していただいています。

1日も早く入居者の方の以前の生活が戻ることを願っています。コロナが落ち着くまで職員一同徹底して感染症対策を実施していきたいと思っております。



■■■■■■■■■■ 入会のご案内とご寄付のお願い ■■■■■■■■■■

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、右記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員 年会費 10,000円

賛助会員 3口より(1口1,000円)

■ 振り込み先

郵便口座：
00100-5-296049

口座名称：
特定非営利活動法人 ピアネット北

■ お問い合わせ

TEL&FAX：03-3905-7226



ピアネット北 通信

2020(令和2)年10月発行 第32号

私たちピアネット北は、「ない物は自分たちの手で！」を合言葉に、毎年様々な行事を企画しております。しかし、新型コロナウイルスの影響による不要不急の外出やイベント等の自粛要請、そして4月に発令された緊急事態宣言を受け、感染防止・事態収拾の観点から、年度当初の事業計画を見直しすることと致しました。

今年度はバーベキュー、バリアフリー旅行、あこの会懇親会、シンポジウム等の行事の中止を決定いたしました。

例年、多くの方々にご参加いただいていた行事を中止することは残念で、参加を待ちわびていた方々を思うと大変申し訳なく思います。一日も早く事態が収束し、平穏な日々と皆様の笑顔があふれる日常が戻ってくることを強く願っております。

2020年10月 理事長 井上良子

○ 新しい職員のご紹介

はじめまして木島です。今年からピアネット北のグループホームやじろべえでお世話になっております。大学では福祉の世界に入りたく勉強していました。自分なんかでも誰かのために生きていきたい、生活を支える一部として必要とされたい、と自分に自信がないからこそその選択だったのかなと思います。職場ではほかの方たちに優しく教えていただき、働きやすい環境で恵まれているなど感じています。入居者の方が楽しそうに過ごされている姿は、働くやりがいと感じています。食事介助や服薬がう

まくいかない、コミュニケーションの難しさなどから、ちょっと折れそうだなと感じることもあります(笑)それでも楽しそうに過ごしている姿を見ると、次がんばろっと思える瞬間です。あとはゲームが好きなので休みの日1日ゲームをしたり、初めての一人暮らしで慣れない家事に励んでいます。面白いゲームやおいしいお店などを紹介してもらえると嬉しいです。こんな自分ですがこれからよろしくお願いたします。



事務局

〒114-0003 北区豊島5-5-5-612
TEL&FAX：03-3913-9308

北区障害者地域自立生活支援室

〒114-0032 北区中十条1-2-18
TEL&FAX：03-3905-7226

☞ URL：http://www.peernet.or.jp/

あこの会(療育相談)・絵画工房たゆたう

〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階
TEL&FAX：03-3900-6848

重度身体障害者グループホーム やじろべえ

〒115-0052 北区赤羽北1-7-23
TEL&FAX：03-6657-9077

✉ E-mail：peernet@peernet.or.jp

○ あこの会（療育相談）

あこの会は、発達につまずきのある子どもたちの子育てを支えています。スタートから15年が経ち、働いている卒業生も増えてきています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、4月と5月の通所による療育相談を中止にしました。

コロナで休園・休校も続き、子どもたちの生活も一変しました。今までにないような状況だからこそ、より丁寧に子育てを支えたいという思いと、動けないもどかしさがありました。子どもたちに会うことができないという制約のなかで、できる限り子育てに悩む保護者とともに歩んでいきたいと考え、いままで通り「おたより帳」でのやりとりを継続しました。

おたより帳をメール、FAX、郵便などで送ってもらい、そこに書かれた悩みに対してお返事を書いて送るといったシンプルなやりとりですが、止めてはいけないという思いでいました。おたより帳へのお返事を書く保護者相談担当が、一日机に向かって読みながら書き続けていた姿が忘れられません（出勤の制限の時期もあったので、在宅での対応も含め、普段よりも書き続ける日々だったと思います）。もちろん電話でのやりとりもしていましたが、子どもへの対応について保護者が課題点を整理してまとめるという意味では、電話よりおたより帳に利点があることも再認識しました。

【対応の工夫】

- ・健康管理：利用者・職員の入室前の検温や体調の確認、マスクの着用
- ・環境への配慮：常時換気、配置の工夫
- ・消毒：教材、備品などの消毒
- ・支援方法：プログラムの工夫や変更（話し合い、言語指導などへの配慮）
- ・行事の中止：合宿、ハイキング、懇親会、外出イベント、調理など

6月からの通所開始で、新しい学年になった子どもたちとようやく会うことができました。これほどまでに子どもたちに会えなかったことはなく、久しぶりに会った時の笑顔を見てホッとしたのを覚えています。

スタートして一番驚いたことは、状態が悪くなっていた子どもがいなかったことです。それどころか、できることが増えている子も多く、大変な状況のなかで保護者の方々がそれぞれがんばっていたのだろうなと感じました。些細なことかもしれませんが、全員がマスクを外さずにプログラムに取り組んでいる姿に日々の取り組みの成果を感じています。

まだ都外から通うことができない子もいるので、ZOOMを使ってリモートでの療育も試しています。子どもたちが楽しそうに画面上の友達とやりとりをしている姿を見ながら、もっともっと工夫をしていかなければいけないと感じています。



○ 絵画工房たゆたう

絵画工房たゆたうは、発達につまずきのある子どもたちや成人の方たちが月に1度のペースで制作に取り組むアトリエです。現在、約40名の方が通っています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、5月のアトリエ開催を中止にしました（例年、4月は開催していません）。

*コロナの影響による中断

アトリエでは、参加者がそれぞれに好きなモチーフを描いています。参加者それぞれが関わる場面はそれほどありません。しかし、移動のリスクや、トイレなどの共有スペースでのリスクなどを総合的に判断して、中止の判断をしました。

アトリエで過ごす時間は、あくまでも「アソビ」です。生活に必ずしも必要な時間とは言えないかもしれませんが、生活のなかで最優先すべき活動ではないかもしれませんが、ストレスを溜めやすい時だからこそ、絵を描くことだけに集中できるひと時をつくるのが大切なのかもしれません。

「無駄」とも思える時間をどう確保していくのか、今回のウイルス流行の影響によって、障害のある方の余暇支援について改めて考えさせられました。

*再開

7月からアトリエを再開しました。みなさんが描きかけの絵をブランクなどなかったように描き始めることに、とても新鮮な驚きがありました。まだまだ不安はありますが、再開できてよかったと心底思った瞬間です。健康管理や消毒などに気をつけながら制作支援を始めています。



【対応の工夫】

- ・健康管理：利用者・職員の入室前の検温や体調の確認、マスクの着用
- ・環境への配慮：常時換気、座席の工夫（距離を開けて対面にならないように着席）
- ・消毒：画材、モチーフの消毒（クレヨンや鉛筆など共有の画材は全て消毒）
- ・支援方法：声かけの位置、介助方法への配慮

○ 絵画工房たゆたう展 vol.5 を開催しました

9月に王子駅のガード下にある「王子カルチャーロードギャラリー」にて『絵画工房たゆたう展 vol.5』を開催しました。ガード下という場所のため、ウイルスの影響を受けずに開催できました。しかし足を運べなかった方々も多く、残念だったという声もありました。Webなどを活用して、今まで以上に伝えていく工夫をしていきたいと考えています。

展示された作品は、現在制作が本格的にスタートした『たゆたうアートブック vol.2』に掲載予定です。本人が選ぶベスト作品は何か？是非ご期待ください！

